

## 4月レポート 「忘れられない思い出」

毎月のレポートも今回が最後となりました。授業の一環で参加したシンポジウム、留学生が出し物をするイベント「インターナショナルナイト」、期末テスト、論文など充実の日々でした。4月レポートでは、忘れられない思い出2つを紹介します。

### 1. ネイティブ・アメリカン

私が履修している授業の一環で、フィンドレー大学から車で10分ほどのところに住むネイティブ・アメリカンのご夫妻を訪問しました。このクラスにはアメリカ人教授・学生、中国人学生、私の4人しかおらず、主に Intercultural Communication（異文化に属する人々の間で行われるコミュニケーション）について勉強しています。今回の訪問のように、実際に人々に会って、お話をすることでその文化について学ぶということは非常に有意義だと思います。私たちは朝そのご夫妻を訪問し、伝統的な朝食を食べ、歴史や言語を学び、また歌を歌っていただきました。印象に残っているのはご夫妻の温かさです。会って間もない私たちを本当の家族のように迎えて下さいました。彼らには私たちとは異なる世界観があります。一般的に私たちは、命あるものとなないものの区別をしたいと思います。しかし、私たちが出会ったネイティブ・アメリカンのご夫妻は、全てに命があってそれを等しく尊敬するという考え方を持っています。私たちが単なるモノとして扱う物に対しても敬意を払い、共に生きるという世界観を持っている彼らだからこそ、本当に温かく迎えてくれたのかもしれない。私は、ご夫妻の家で話しているとき、彼らの文化を「真に」感じられたような気がしました。本やインターネットでネイティブ・アメリカンのことを勉強し、たくさんの知識を得ることは比較的簡単です。しかし、まさにその文化を持っている、実践している彼らでないとわからないこと、また彼らと直接会ったからこそ感じられたものがあると思います。彼らの温かさ、異文化に触れ、非常に良い経験ができました。同じアメリカ内でも様々な人々がいます。ネイティブ・アメリカンは国内でも少数派ですが、その独自の文化を脈々と受け継いでいます。私はそれぞれの文化を理解し、尊重したいです。



図1：クラスのメンバーと

## 2. オハイオ州知事表敬訪問

すべての授業や課題、テストが終了し、埼玉親善大使として機械科スカラシップの2人と共に、オハイオ州知事への表敬訪問を行いました。午前中に非常に短い時間ではありましたが、知事とお話しし、記念撮影を行いました。知事からは間髪入れずに様々な質問をいただきましたが、なるべく自分の意見を伝えられるよう努力しました。また午後には JobsOhio という経済開発を担う組織の方々に向けてプレゼンテーションを行いました。私たちが何をしてきたか、何を学び、これからどう将来に生かしたいかを伝えました。留学生活では今までたくさんのプレゼンテーションの機会がありましたが、今回が最後となり総まとめができたと思います。学生のうちに州知事との面談、そして実際に州を動かしている人々に向けたプレゼンテーションの場をいただけたことは非常にに光栄です。この経験を大切にしたいです。改めて、このスカラシップ・プログラムに感謝します。

図2：オハイオ州議会議事堂

